



陽東中だより

第8号

令和元年12月20日

発行者 校長 酒井功夫

目指す生徒像 ～本気 勇気 元気 根気～

創立60周年記念式典&記念講演

昭和35年に開校した本校も節目となる創立60年を迎えました。そこで、11月16日（土）に、創立60周年記念式典と記念講演会を実施しました。



本校の誕生の歴史は、陽北中学校の峰分教室と昭和34年度に廃校となった平石中学校の一部が合併して、現在の陽東小学校の地に開校しました。これまでの記念誌を読むと、創立当時のモットーは「学校づくりに汗を流そう」で、生徒、教職員、PTA、地域の方々が一丸となってその基礎を確立されたのがわかります。現在の地に陽東中学校が移転したのは、昭和51年で、生徒用机等は、当時の生徒一人一人が列をなして運び入れたそうです。

ここ数年の陽東中学校の生徒数は800人前後で推移していますが、最多時の昭和60年には、約1700名で40学級もありました。当時の体育祭や文化祭の様子、部活動の活躍を写真や文集で見ると、現在の生徒のパワフルでエネルギッシュな姿は、現在に至るまで代々受け継がれてきたものだと思えます。これからも、陽東中生徒が、先輩の跡を継ぎ、各界において力を存分に発揮してくれるものと期待しています。

記念式典は、宇都宮市長、市教育委員会教育長、元校長、元PTA会長、同窓会長、地域の方々を来賓としてお迎えし、厳粛な中で、進められました。そして、その後、昭和54年度卒業生である枝野幸男氏をお迎えし、「何が幸いするかわからない～偶然を必然につなげる～」という演題で講演していただきました。テレビで見るよりも柔和な表情で、中学時代合唱部に所属し、当時の恩師との出会いがNHK合唱コンクールで最優秀賞を受賞できたことや国会議員になった経緯など中学生に分かりやすく説明してくれました。生徒にとってとても有意義な講演会となったようです。



道徳&社会科の研究授業を実施



中学校においては、新学習指導要領の完全実施が令和3年度からとなっています。その新学習指導要領でのキーワードとなっているものの一つに「主体的・対話的で深い学び」があります。少し前まで「アクティブラーニング」と言われていた言葉と同義として使われています。今は各教科において、単なる知識や技能を表面的に学ぶだけでなく、この言葉にある「深い学び」とはいったいどのようなものか、どうしたら深い学びとなるかについて研修しているところです。そこで本校でも、前回お知らせしたように「一人一授業」と銘打っての研修をしてきたところですが、今回は市教育委員会から指導主事の先生をお招きし、より専門的な立場からの指導助言をいただきたく、道徳と社会科での研究授業

を実施することにしました。道徳は11月26日（火）に、社会科は12月13日（金）にそれぞれ1年生の学級での授業を全員で参観し、その後、深い学びに繋がるような授業ができていたかの研修を行いました。

地震による給食室からの火災を想定した避難訓練実施

11月27日（水）の5校時終了後に、地震が発生し、それによって給食室より出火が確認され安全な場所へ避難する訓練を実施しました。今回は、地震による給食室からの火災を想定したので、通常なら避難場所は、校庭東側ですが、校庭東側には高いフェンスがあり、それが地震によって倒壊することも予想されるため、校庭の中央付近を避難場所にしました。前回同様に、避難の原則である「お・か・し・も」を遵守して迅速に避難することを目標としました。放送での避難指示が出されてから校舎内にいた生徒、教職員全員の避難が完了し無事が確認できた時間は、3分30秒後でした。800人以上の訓練としては、良かったと思います。避難終了後に、教員による消火器を使用した消火訓練を行いました。今回の避難訓練に立



ち会っていただいた平石分署の消防士さんの指導では、消火できるのは、両手を上げたくらいの火の大きさまでであり、消火器を持って火元から2mまで近づき、火の先端でなく火元を狙って消火にあたることが大切であるということでした。

ふれあい文化教室

昨年度に引き続き2年生を対象としたふれあい文化教室を行いました。NPO法人津軽三味線裕翔会より4人の先生をお招きし、指導していただきました。まず、三味線についてのお話があり、三味線の皮は、以前においてはニシキヘビを利用していたけれども現在は、犬や猫の皮を東南アジアから輸入して使っていること、弦は絹でできており、防虫効果があるのでウコンを絹糸に混ぜて使っているということ等を教えていただきました。次に4つのグループに分かれ、実際にバチの持ち方から始まり、弦を弾く体験をさせてもらいました。生徒は、聞いたり、見たりするのとやってみるのでは大きな違いがあり、かなり苦労していましたが、楽しそうに取り組んでいました。



学校医によるがん教育



中学校1年生を対象として増山哲茂学校医さんによる「がん教育」の講演会を実施しました。この講演会は、市医師会からの要請が市教委にあり、市教委から増山先生が陽東中の学校医であることから指名を受けて開催されることになりました。パワーポイントを利用して、がんのしくみ、その原因、がんになる人の割合、5つの生活習慣、がんを防ぐための12か条を実践すれば50%リスクは減る等、予防医学の大切さについてお話をいただきました。今回の講演会は、昔は不治の病と言われた「がん」も、今や早期に発見し早期に治療すれば完治するということをわかってほしいのがねらいでした。